

第3学年保健体育科学習指導案

日時 平成16年10月6日(水)5時間目
場所 一関市立山目中学校体育館
学級 3年AD組男子(40名)
指導者 教諭 郷内和弘

1 単元名 球技(バスケットボール)

2 単元について

(1) 教材について

球技は、ボール等を使いゲームや個人対個人での攻防を通しながら、多くの運動技能を身に付けることができるスポーツである。また、互いに協力して練習やゲームを行うことで、勝敗に対する公正な態度を身に付けたり、課題を解決するためにメンバー同士で話しあったりすることで、工夫しながら学ぼうとする力の高まりがおおいに期待できる教材といえる。

バスケットボールは、シュート、パス、ドリブルのほか、ディフェンスやリバウンドなどたくさんの技能を要求されるスポーツで、バスケットボール特有の調整力のみならず、筋力や走力が個人の技能や思考に大きな影響を与えると考えられる。また、ゴール型集団スポーツ特有の状況判断の多様性があるため、個人の役割は何なのか生徒に理解しづらい部分が多いと考えられる。本校では、バスケットボールは3年間取り上げてきている。1年生のときは体力面や経験の差が大きく、基本的技能の習得やシュートすることの喜びを中心に学習を行った。2年生では、現在持っている力を各自で出し切りながらゲームを行うことを学習のよりどころに実施してきた。3年生になって体力的、精神的に大きく成長してきたことから、リーダー生徒を中心とし仲間同士が互いに尊重しながら学習を進めることで、「楽しく明るい生活を営む態度を育てる」ことの実現を目指したい。

(2) 生徒について

本学級は、運動に積極的な生徒が多い学級である反面、運動を苦手とし意欲が前面に出てこない生徒も結構いる。この実態を踏まえ、バレーボールの学習では、チーム力の向上をテーマに「みんなが楽しバレーボールを行う」ことを大きな学習目標に授業を展開してきた。具体的には、三段攻撃をテーマに前衛・後衛選手の役割やセッターの重要性を考えさせながら学習を続けた。結果、ほとんどの生徒が意欲的にボールを追うなど、全体的な学習意欲や技能等の向上が認められた。学習過程において、チーム編成等で自分勝手な態度が見られるなどの課題も出たが、それを課題として取り上げみんなで考えていく中で課題の解決が図られ、全体の向上につながったものと思われる。

バスケットボールにおいても、運動に積極的な生徒とそうでない生徒の差が随所に見られることが予想される。まして、前述したようなゴール型集団スポーツ特有の状況判断の難しさが加わると、積極的な生徒は自分勝手なプレーを行ったり、消極的な生徒はボールに触れようとしない等の状況が予想される。また、事前調査の結果、本学級では40名中18名が「バスケットボールは嫌い」と答えている。主な理由として、「シュートが入らない」「ルールが難しい」「攻撃の仕方がわからない」などであった。このような理由からも、課題設定や教え合い学習のポイントをいかに絞るかが大きな課題である。

(3) 指導について

教材の特性や生徒の実態から、本単元でもバレーボール同様、「みんなが楽しい」というテーマを掲げ、運動に積極的な生徒とそうでない生徒との融合を図りながら授業を展開する必要があると思われる。そのために、最終的にはオールコートゲームを生徒の手で運営させることを目標とするものの、体力差や状況判断における難易度を考え、ハーフコートの3対3によるゲームを通して、各プレーヤーに、シュート・パス・ドリブルのいずれかの選択をさせながら思考・判断力を高めさせ、一人ひとりがゲームや練習に参加しているという意識をもたせたい。このことは、運動に消極的な生徒に学習する機会をより多く与えるだけでなく、運動に積極的な生徒の思考・判断力も高めさせ、よりよい人間形成に役立つものと考えられる。

3 単元の指導目標

- (1) チームのメンバー同士が協力して、チームや各自の課題を確認させながらバスケットボールの技能を習得させ、一人ひとりが参加して楽しいと思えるようなゲームができるようにさせる。
- (2) ルールや競技の仕方について理解を深めさせ、ゲームをしている生徒はもちろん、ゲームをしていない生徒も競技の運営に参加させ、授業に参加している全員が健康・安全に留意しながら学習できるようにさせる。

4 指導計画と評価規準（本時は3時間目）

まとめり	時間	学 習 活 動	評 価 規 準
学習	1	バスケットボールの特性と学び方 チームづくり	バスケットボールの特性に興味・関心を持ち、進んで運動を楽しもうとしている。また、公正な態度でチームづくりに参加しようとしている。（関心・意欲・態度）
学習	2～6	3対2 ハーフゲームの仕方 3対2のハーフゲーム	3対2 ハーフゲームについて興味・関心を持ち、進んでゲームにかかわろうとしている。また、係の仕事を行うなど、健康・安全に留意して学習している。（関心・意欲・態度） アウトナンバー（DFが少ない状況）について考えながらゲームの仕方を考えようとする。（思考・判断） ノーマーク場面のチャンスを活かし積極的にゴールしようとするプレーを実践することができる。（技能）
学習	7～11	3対3 ハーフゲームの仕方 3対3のハーフゲーム	3対3 ハーフゲームについて興味・関心を持ち、進んでゲームにかかわろうとしている。また、係の仕事を行うなど、健康・安全に留意して学習しようとしている。（関心・意欲・態度） アウトナンバーの状況をつくろうと意識したり、直接ゴールをねらおうとする意識をもってプレーをしている。また、それを阻止しようとするDFの動きを工夫している。（思考・判断） DFのマークを振り切る動き、ノーマーク場面でのシュートやノーマークのプレーヤーにパスするなど、状況に適したプレーを選択し実行できる。（技能） 基本的なルールや競技方法について理解し、ゲームに参加している。（知識・理解）
学習	12～16	オールコート5対5のリーグ戦 学習のまとめ	5対5のゲームについて興味・関心を持ち、進んでリーグ戦にかかわろうとしている。また、係の仕事を行うなど、健康・安全に留意して学習している。（関心・意欲・態度） 自分やチームメイトの体力や技能および相手チームの状況を考慮しながら、ゲームをおこなおうと工夫している。（思考・判断） 攻守の切り替えを素早く行い、状況に適したプレーを遂行できる。（技能） 正式なゲームにおけるルールや試合方法を理解し、正しい言葉で表現している。（知識・理解）

5 評価計画（本時）

基礎・基本	評価方法	具 体 の 評 価 規 準		
		A	B	C
3対2のハーフゲームについて興味・関心を持ち、進んでゲームにかかわろうとすること。	ゲームの観察 話し合い活動の観察	プレー中や見学中に指示を出したり、コミュニケーションのための声を出すなど、積極的にゲームにかかわろうとする。	攻撃や防御をしようとする積極的に動き、進んでゲームにかかわろうとする。	ゲームに対して消極的な生徒には、ゲーム終了後動きのポイントについてアドバイスしたり、チームの話し合いに積極的にかかわるよう支援する。

6 本時の指導

(1) 指導構想

3対2のゲームのポイントは、ボールを保持しているプレーヤーも含め、いかにしてフリーなプレーヤーを活かすかということにある。また、パスやドリブルを使ってフリーなプレーヤーをつくり、フリーになったプレーヤーは積極的にシュートをねらうことも大きなポイントである。3対2のゲームを通して、バスケットボールの対人技能で必要な、状況認知や状況判断能力を身につけさせたいと考える。しかし、本時は本単元に入って3時間目にあたるため、この段階では、よい状況判断能力を育てるためにも、攻める側、守る側とも一生懸命動くことが大切であると考え。

前時は3対2のゲームの仕方について学習した後、実際にゲームを行い、授業の終末にチームの話し合いをもって課題をまとめさせた。本時では、導入段階で各チームの課題を発表させ、全体に共通する課題について取り上げながら、本時の基礎・基本である関心・意欲・態度について学習テーマを設定し、進んでゲームにかかわろうとする態度を身に付けさせたい。

(2) 展開

段階	基礎・基本	学 習 活 動	時間	指導上の留意点	
				評価	援助
導入 13分		1 各自ランニング5周	5分		<ul style="list-style-type: none"> ・全員が走っているか確認。 ・教科リーダー中心に声を出して体操をしているか確認。 ・不足している部位があれば教師が補足して準備運動を行わせる。
		2 体操			
		3 あいさつ			
		4 前時における各チームの改善点の総括	3分		
		5 本時の学習テーマの確認			
<p>声を出したり、指示を出したりしながら積極的にボールをもらい、シュートをねらおう。また、ディフェンスはボールマンをフリーにさせないで必死に守ろう。</p>					
展開 27分	【関心・意欲・態度】 3対2のハーフゲームについて興味・関心を持ち、進んでゲームにかかわろうとすること。	1 試合順番、対戦相手の確認	2分	<ul style="list-style-type: none"> ・ナンバリングシャツの配布 ・デジタルタイマーは1箇所配置し、全試合一斉に行う。 	
		2 3対2のゲーム 全12チームを3チームごとの4ブロックに分けリーグ戦を行う。 <試合の進め方> あいさつ・攻めの順番決め 7分ゲーム×3 あいさつ・交替 <係活動> ・審判の指示により、試合開始と終了のあいさつを行う。 ・試合のないチームは、審判(1名)と得点係(2名)を行う。 ・試合終了後は、審判が試合結果の確認をし、記録表に記入する。	25分		<p>攻撃や防御をしようと積極的に動き、進んでゲームにかかわろうとする。</p> <p>ゲームに対して消極的な生徒には、ゲーム終了後、動きのポイントについてアドバイスをする。</p> <p>試合のないチームの生徒には、応援やアドバイス等をするよう呼びかける。</p>
終末 10分		1 チームごとに集合し整理運動を行う	2分	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の指示によりストレッチ等を行わせる。 ・プリント・筆記用具の配布。 	
		2 本時の学習を振り返り、成果と改善点について話し合いプリントにまとめる。	5分		<p>話し合いへの参加状況が思わしくない生徒には、積極的にかかわるようアドバイスをする。</p>
		3 チームの代表が発表する。	3分	<ul style="list-style-type: none"> ・時間がない場合には、発表するチームを絞るか、次時にまわす。 	
		4 あいさつ			